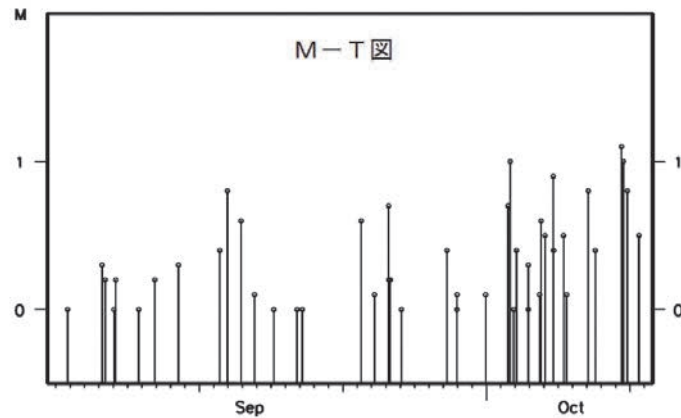
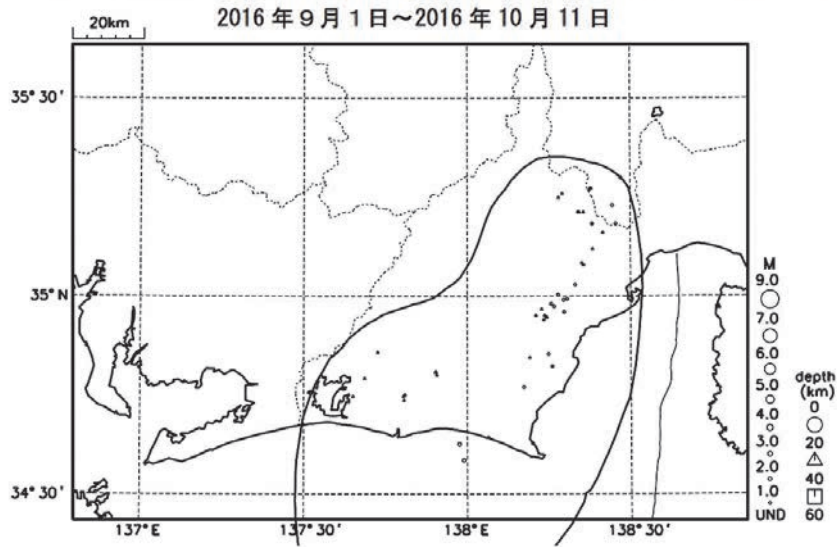


プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

（Hirose et al. (2008)によるフィリピン海プレート上面深さの±3kmの地震を抽出）

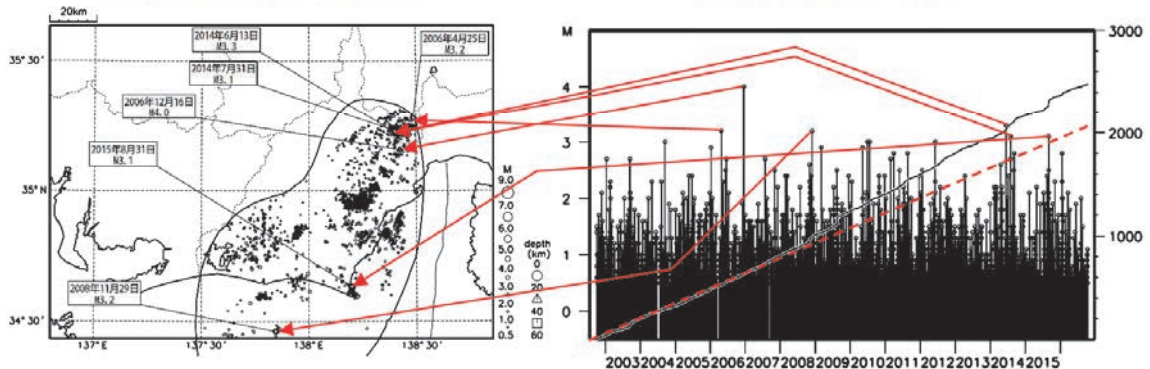
プレート境界とその周辺の地震の震央分布（最近約1ヶ月半、Mすべて）



プレート境界とその周辺の地震の震央分布（2002年10月以降、 $M \geq 0.5$ ）

2002年10月1日～2016年10月11日

回数積算図とM-T図



2002年10月以降（ $M \geq 0.5$ ）で見ると、東海地域のプレート境界とその周辺の地震活動は、2007年中頃あたりからやや活発に見える。なお、2009年8月11日以降は、駿河湾の地震（M6.5）の余震活動の一部を抽出している。M3を超える地震については、その震央を矢印で示しているが、これらの地震の発震機構解は想定東海地震のものとは類似の型ではない。

気象庁作成

図7 プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）